

調査レポート

Report

業界の景況、2期ぶりの改善

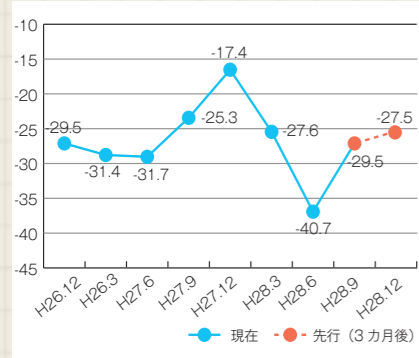
～採算以外の項目では悪化が続く～

《採算（収支）》
採算状況を表す現在DI値は▲29・5と、前回調査から11・2ポイント増、2期ぶりの改善という結果になった。3ヵ月後の先行DI値は▲27・5で、現在と比べ2・0ポイントの改善を見込んでいる。

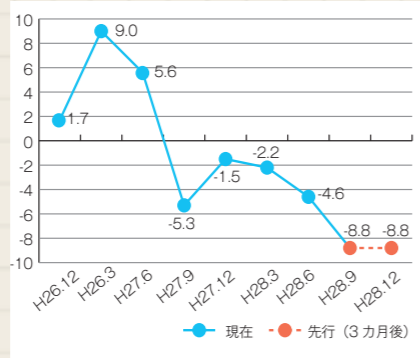
《販売価格》
販売価格の現在DI値は▲8・8、前回調査から4・2ポイントの下落となった。3ヵ月後の先行DI値は、▲8・8となっており、現在と変わらないと予測している。

《仕入価格》
仕入価格の現在DI値は▲18・1、前回調査から0・3ポイント減と、2期連続の悪化という結果になった。3ヵ月後の先行DI値は、▲23・1となっており、5・0ポイント減を予測している。

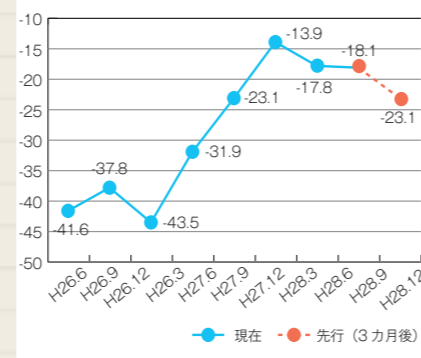
【グラフ 採算（収支）】



【グラフ 販売価格】



【グラフ 仕入価格】



《DI値とは・・・》

デیفュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3ヵ月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3ヵ月後の状況を予測したものである。

平成28年7月～9月の福井商工会議所会員小規模事業所の景況感は業界に関しては2期ぶりの改善という結果になった。全業種の項目を見ると、業界の景況に関しては改善しているが、自社の景況に関してはわずかに悪化しており、景況の改善を自社としては実感できていない事業所もあることが分かる。

業種別に見ると、製造業、建設業は業界、自社の景況が改善している。小売業は販売価格、売上高が改善しているものの、仕入価格が悪化していることもあり採算は悪化している。また、小売業は唯一、業界の景況も悪化している。

《売上高（受注高）》

売上状況を表す現在DI値は▲32・6、前回調査から3・9ポイントの下落となった。3ヵ月後の先行DI値は▲31・6となっており、1・0ポイントの改善を見込んでいる。

《自社の景況》
自社の景況は、現在DI値は▲31・6となり、前回調査より0・6ポイント下落した。3ヵ月後の先行DI値は▲30・3で現在より1・3ポイントの改善を見込んでいる。

《業界の景況》
業界全体の現在DI値は▲42・5を示し、前回調査（H28・6期）から6・7ポイント上昇し、2期ぶりの改善となった。3ヵ月後の動向を表す先行DI値は▲44・6で、現状より若干の悪化を見込んでいる。

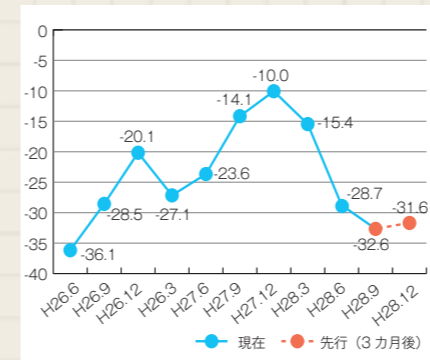
《調査概要》

- 調査時期
平成28年9月12日(月)～16日(金)
- 調査方法
FAXによる送付、回収
- 調査対象
福井商工会議所会員小規模事業所より 364件を抽出
- 回答数
175件 (回収率48・1%)

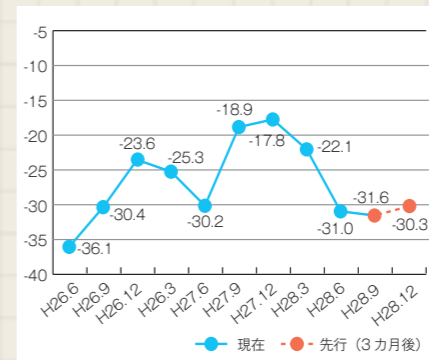
業種	前回調査と今回の現在DI値の比較					
	業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、原材料)	販売価格	採算(収支)
全業種	↑	↓	↓	↓	↓	↑
製造業	↑	↑	↓	↓	↓	↑
建設業	↑	↑	↓	↑	↓	↑
卸売業	↑	↓	↓	↑	↓	↑
小売業	↓	↓	↑	↓	↑	↓
サービス業	↑	↓	↑	↓	↑	↑

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

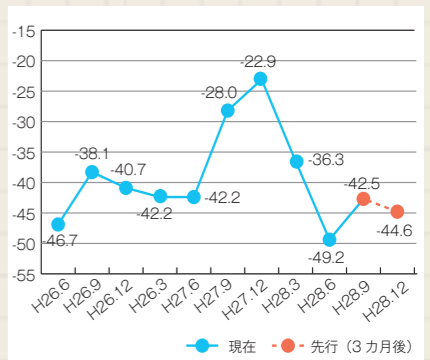
【グラフ 売上高（受注高）】



【グラフ 自社の景況】



【グラフ 業界の景況】



福井県内企業倒産

期	倒産件数(件)	負債総額(百万円)
平成28年6月	5 (4)	391 (108)
平成28年7月	5 (4)	164 (457)
平成28年8月	5 (2)	575 (112)

※ () 内は前年同月 (株東京商工リサーチ)

求人・求職状況

	8月中	前月	前年同月
求人数 (人)	19,208	18,651	17,557
求職者数 (人)	10,554	10,697	10,828
有効求人倍率(倍)	1.80	1.82	1.64

(有効求人倍率は季節調整値) (福井労働局)

福井県人口・世帯数

	8月1日現在	前年同日	増減
人口 (人)	782,980	785,701	2,721
男 (人)	379,667	380,243	576
女 (人)	403,313	405,458	2,145
世帯数(世帯)	281,048	281,265	217
一世帯数あたり(人)	2.79	2.79	0

(福井県 政策統計・情報課)